

命を守るシートベルト

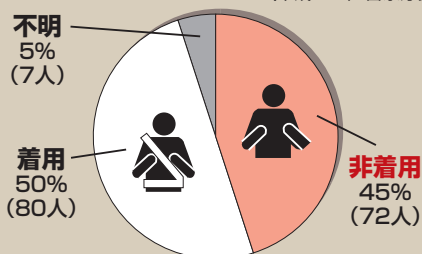
シートベルトの着用状況について

高速道路を走行している時、乗っている人もまた同じ速度で進んでいます。人と車は一心同体、車が急に止まれないように、体も急には止まれません。

シートベルトは、衝突の際、車内にてハンドルやフロントガラスに胸や頭をぶつける2次衝突や車外への放出を一定の範囲で防止する効果があります。平成25年の高速道路での交通事故死者の**約5割**が、シートベルト非着用者です。さらにデータを見れば、非着用者の致死率は着用者のなんと**約18倍**！シートベルトが、あなたを守ります。また、エアバッグはシートベルトを着用しないと十分な効果を発揮しません。

●高速道路でのシートベルト着用・非着用死者数

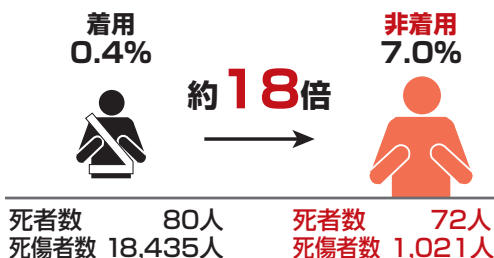
(平成25年・警察庁資料による)



※全死者227人から二輪車・歩行者が当事者となったものを除いた159人の構成（指定自専道含む）

●高速道路でのシートベルト着用・非着用致死率

(平成25年・警察庁資料による)



$$* 致死率 = \frac{\text{死者数}}{\text{死傷者数}} \times 100$$



平成20年6月1日から 後部座席のシートベルト着用が 義務化されました



運転席・助手席だけでなく**後部座席もシートベルトを装着**しましょう。**なお、6歳未満のお子様を同乗させる場合、チャイルドシートの使用が義務づけられています。**チャイルドシートは、お子様の体格と車に合った安全性の高いものを使用しましょう。

❗ 全席シートベルト着用義務化により ❗

シートベルトを着用していない場合は違反となり、
高速道路等においては、
運転者に違反点数1点が付されることになります。



知っていますか？ シートベルトの正しい使い方

- 1 腰ベルトは腹部にではなく
腰骨にかかるように
- 2 肩ベルトは肩の
中心位置になるように
- 3 ベルトは
ねじれないように
- 4 バックルは「カチッ」の
音を確認





シートベルト非着用の危険性

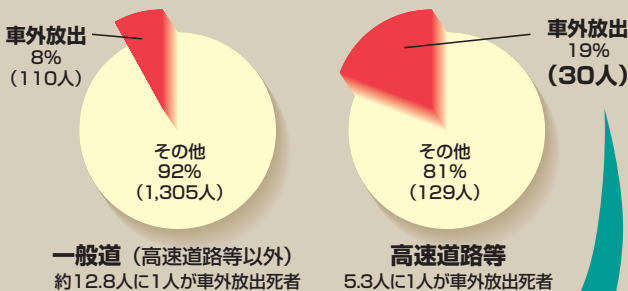
高速走行で衝突した場合、シートベルトをしていないと体が車内で振り回され、**開いたドア、割れたガラス部分、場合によっては前や後のガラスを突き破って**、車外放出されることがあり、車外放出されると、路面への落下時の衝撃や後続車にはねられるなど、死亡に至るケースもあります。またシートベルトをしている同乗者にもケガをさせてしまう可能性があります。

■高速道路等での**死者の約5人に1人は車外放出**

高速道路等（指定専道含む）で自動車乗車中の車外放出による死者は、**約5人に1人**の割合で発生しており（平成25年）、一般道と比較すると明らかにその割合が高いことがわかります。

●自動車乗車中の車外放出死者数

（平成25年・警察庁資料による）



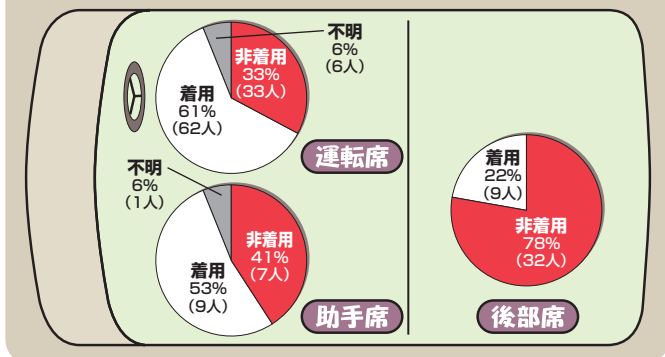
車外放出死者の**約9割**がシートベルト**非着用**



🚗 後部座席もシートベルト着用！

●高速道路等での座席別シートベルト着用・非着用死者数

(平成25年・警察庁資料による)



上のデータが示すように、高速道路等で後部座席同乗者の約8割が**シートベルト非着用**で亡くなっています。

後部座席では、衝突時に前席のようにハンドルやフロントガラスに直接ぶつかることはなく、シートベルトは必要ないと考えがちですが、実際には車内で振り回され頭や体をうったり、車外に放出されるケースが少なくありません。万一に備え、**後部座席同乗者も必ずシートベルトを着用しましょう。**

●高速道路での座席別シートベルト着用率 年別推移

